

## 白糸台地における文化的景観の活用に向けた地域資源の基礎分析

熊本大学工学部 学生会員 ○畔津伸彦  
熊本大学大学院 学生会員 永村景子

熊本大学政創研 正会員 田中尚人  
熊本大学大学院 学生会員 岩切謙介

### 1. はじめに

2008年「通潤用水と白糸台地の棚田景観」が重要文化的景観に選定されて以来、熊本県山都町の白糸台地では保全・活用に向けての取り組みが模索されている。しかし、文化的景観は地域住民の生活・生業を含み形成される景観であり、地域住民には理解しづらい面もある。また、外部の人との認識が異なったまま保全・活用の取り組みが行われると、地域の個性を失ってしまう恐れがある。地域全体の活性化・暮らしやすさにつながるような文化的景観の保全・活用を考えるために、本研究では、文化的景観の構成要素である地域資源を整理し、地域住民と共有できるような文化的景観の価値構造を明らかにすることを目的とする。

### 2. 白糸台地における文化的景観の構造

本章では、対象地の文化的景観の構成要素を整理し、文化的景観の構造を明らかにする。

#### (1) 白糸台地の概要

白糸台地は北に浜町の低地が存在し、東を笹原川、西を千滝川、南を緑川本流という三方を水に囲まれた面積約 8.4km<sup>2</sup>の台地である。地質は大部分が火砕流堆積物であるため浸食に弱く、深い渓谷を形成している。南を流れる緑川は古くから水運として利用されていた。

#### (2) 「通潤用水と白糸台地の棚田景観」の概要

文化的景観とは、「地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの」(文化財保護法第二条第1項第五号)と定義された文化財である。その構成要素は以下のように示される。

- i) 自然特性：通潤用水下井手にはアブラボテなど貴重な生物がいる。
- ii) 歴史特性：通潤用水建設は、地域主導で行われた大規模な事業で、前近代日本社会の到達形態といえる。
- iii) 土木特性：通潤用水の管理システムは現代まで継承されている。

### 3) 文化的景観の価値構造の分析

文化的景観の価値をわかりやすく理解するために、重要文化的景観の構成要素となった地域資源を、「生活文化・歴史資産・土木施設・自然環境」の4つの属性に整理した(表1)。文化的景観の構成要素を4つのレイヤーにわけてGISを用いて図を作成した(図1)。これにより文化的景観の価値構造が理解し易くなった。

表1 構成要素表

生活文化			
農地	棚田、畑地、茶畑	集落	11集落
		生物	アブラボテなど
歴史資産			
埋蔵文化財	矢部城、遺跡	神社	布田神社、若宮神社、居屋敷神社、村屋敷神社
石造物	長尾豊前の墓、犬飼の逆修板碑、六地藏		
樹木	造化天神のいちいがし、犬飼大イチョウ、御子屋大杉	史跡	こぶれがし、御子屋、相藤寺の石置、岩丁場、勘定場跡
土木施設			
通潤用水	上井手、下井手	その他	取水口、円形分水、通潤橋
自然環境			
河川	五老ヶ滝川、笹原川、千滝川、緑川	里山	杉、共有林

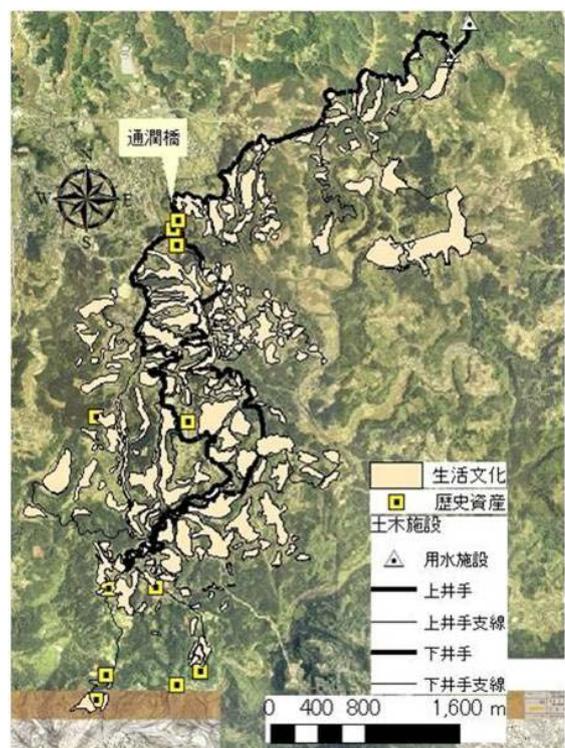


図1 構成要素図

### 3. 地域づくりにおける文化的景観の役割の考察

平成 22 年 2 月 22 日に白糸台地全域が重要文化的景観に選定された。本章では、地域住民の景観認識を把握するとともに、現在現地で取り組まれている地域づくり活動における文化的景観の役割を考察する。

#### (1) 地域づくりにおける文化的景観の位置づけ

- 1) 棚田あかり：平成 22 年 6 月 14 日開催。約 3000 本の竹灯籠を水田の畔畦に設置し、棚田景観をキャンドル灯りで楽しんだ。
- 2) 祝賀会：平成 22 年 6 月 15 日、重要文化的景観選定記念式典と祝賀会が催された。記念式典では立正大学名誉教授富山和子氏が基調講演を行った。
- 3) 集落ビジョン作成ワークショップ (WS)：景観農振、集落ビジョン作成を目的としたWSが実践されている。

ングが行われた。表 2 は抽出された地域資源を 4 つに振り分けたものである。表 1、表 2 を比較すると同様の資源がみられ、類似点も多いことから、「地域の宝」こそ文化的景観の資源であると考えられる。

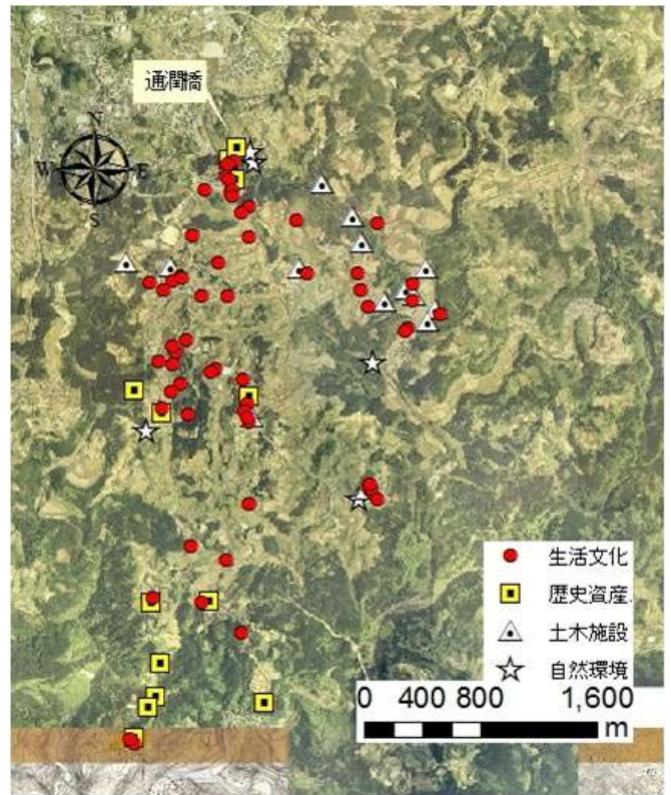


図 3 地域資源図

図 2 ワークショップ行程表

表 2 ワークショップで抽出された地域資源

生活文化			
地藏菩薩	子宝	風の神	ゴウ助田
火伏地藏	造化天神	景色、蛍のきれいな所	共同墓地
西海寺	猿田彦	稲荷さん	築150年の家
観音堂	風の神	長野のイチョウ	ピオトープ
妙見さん	後藤りょうていの墓	展望広場	山翠
風の神	お稲荷さん	風の神	風の神
お宮様	町口神社	用水路、蛍がたくさん	拝み所
地藏様	猿田彦の石物	新寝開	田吉眼鏡橋の跡
聖堂碑	開田集落の石碑	蛍の生息地	学校のプールの代わり
水道タンク	お宮様	水神様	桜もみじ
さんやさん	イチョウと神社	棚田と内大臣の風景	釣り
子安観音	石臼	あじさい	防空壕
長寿観音	お宮さん	荒神さん	防火用水
風の神	蛍のきれいな所	火の矢、布田保之助座像	風の神、見晴らしがよい
火伏地藏	蛍のきれいな所	水の矢	共同墓地
歴史資産			
白石天満宮	キリシタン瓦	穴地藏	いちいがし
長尾豊前の墓	愛蔵寺城跡	若宮神社	布田神社
大手門	石畳	犬飼の大イチョウ	おこや
かんぼみち			
土木施設			
調整池ダム	津留発電所の沈砂地	用水路	飲料水の水源地
津留発電所取入口	昔の井戸跡	飲雑用水のため池	飲料水の水源地
津留発電所	長野部落共同水道	飲雑用水の水源地	貯水タンク
飲雑用水のポンプ	用水路		
自然環境			
センジャブチ	かねつきやま	七里谷	五老ヶ滝
犬飼滝			

#### (2) 地域住民の景観認識

継続中のWSの目的は集落ビジョン作成であり、8月23日に行われたWSでは「地域の宝」についてヒアリ

#### (3) 文化的景観に対する地域住民の認識

表 1 と表 2 を比較すると、表 2 の特徴として要素数の増加、固有名詞化、「生活文化」項目の増加、などが指摘できる。特に、地域住民の生活に深く関わる生活文化は要素が多く、活用に際して、生活文化のネットワーク化と他のレイヤーとの繋がりを「ものがたり化」することなどが重要である。

#### 4. おわりに

本研究は白糸台地における文化的景観の価値構造を可視化し、地域住民の景観認識との比較・分析を行った。その結果、文化的景観の保全・活用の際に大切にすべき要件を明らかにすることができた。

#### [参考文献]

- 1) 熊本県上益城郡山都町教育委員会：山都町文化財調査報告書第 2 集、2008
- 2) 矢部町史編さん委員会：矢部町史、1983
- 3) 古賀由美子、田中尚人、永村景子、本田泰寛：通潤用水の維持管理の変遷とその実態の明示、土木史研究論文集、29、49-58、2010
- 4) 茶谷幸治：まち歩きが観光を変える、学芸出版社、2008